

オンライン活動①

@動画配信ボランティア

人文社会学研究科(琉アジ) M1

① オンライン 活動の経緯

今まで現地調査ができていたが、
新型コロナを警戒して
現地調査に行けない状況に...



この苦しいコロナ禍の今、
調査でお世話になった**地域の助けになりたい!!**
私達、**大学生だからできる形で**
地域に貢献できることをしよう!!



② 与論島の状況

打破

去年、お世話になった与論島が
ロックダウン!!

島外へ行けない、島外から行く
こともできない...

児童・生徒が学校へ行くことが
できない

勉強がしづらいことはもちろん、
進路の情報も入手しづらい

③ ボランティアの趣旨

新型コロナウイルス感染が拡大した今、島から出るのも困難な現状であり、島外へ進学、就職する子どもたちにとって、大学や現地の情報を手に入れるには、**時間もお金**のかかってしまう。

島にしながら、大学生と繋がれる機会が欲しい!!
大学生のリアルな“声”を聴きたい!!

与論高校生対象!
現役大学生に聞く、リアルな大学生活

島×大学生 オンラインイベント

Youtube生配信!

- 2020年9月19日(土) 20:00~21:00
Vol.1 沖縄の琉球大学生～文系編～
- 2020年9月20日(日) 20:00~21:00
Vol.2 沖縄の琉球大学生～理系編～
- 参加費：無料!

新型コロナウイルス感染が拡大した今、島から出るのも困難な現状があります。大学進学を考えていても、オープンキャンパスに行くのにもお金がかかる。島に居ながら、大学生と繋がる機会が欲しい! そんな想いから、与論島発「島×大学生」が立ち上がりました。

大学生活ってどんな感じ?
どんな資格が取れる?
どこに就職できるの?
さまざまな疑問を、大学生に聞いちゃいます!

質問箱への投稿
お願いします!

参加方法(2ステップ!)

- ①QRコードを読み取る
URLは↓
<https://shimadai.peatix.com/>
- ②イベントページにあるYoutube配信URLをクリック!

詳しくは↓まで



主催：NPO法人海の再生ネットワークよろん
協力：まなび島・誇れるふるさとネットワーク
国立歴史民俗博物館メタ資料学研究センター
琉球大学人文社会学部琉球アジア文化学科高橋そよ研究室(琉球民俗学)

お問い合わせ：NPO法人海の再生ネットワークよろん 080-5075-3457 (直通)

【写真① 広報フライヤー】

④活動の日程

- ・ 8月下旬:**ゼミ**(琉球民俗学:高橋そよ研究室)と
サークル(琉球芸能研究クラブ)を通して参加者を募集
- ・ 9月上旬:参加者の状況から文系と理系にわけ
NPO法人海の再生ネットワークよろんさん(現地NPO法人)が
ファシリテーターとして運営。
zoomを用いてボランティアの活動内容や高校生の
質問を確認する。
- ・ 9月19日(土) 文系(ゼミ中心)
- ・ 20日(日) 理系(サークル中心)

➡ 当日



⑤ 運営の仕方

- 高校に質問箱を設置して高校生に質問を投稿してもらう。
- ファシリテーターがフリップを使用して、高校生から寄せられた質問を大学生に聞いて答えてもらう。
- ファシリテーターと大学生はZoomでトーク、そのトークしているZoomをYouTubeを使用してライブ配信。
- 当日見れなかった人たちにも見れるように録画して掲載。



【写真③ 20日の様子】

<https://www.youtube.com/watch?v=C4Pa9MIbK0c&feature=youtu.be>



【写真④ 19日の様子】

<https://www.youtube.com/watch?v=9RBNnP6aS-U&feature=youtu.be>

⑥ 高校生からの質問



大学生活

- ・琉大に入学した理由は？
- ・あなたの学部・学科で学べることは？
- ・どんな資格が取れるの？
- ・卒業後の就職先は？
- ・サークルって何？



1人暮らし

- ・生活費ってどれぐらい？
- ・車の免許はあったほうがいい？
- ・一人暮らし、寮どっちがいい？



コロナ禍

- ・コロナ禍で変化したことは？

⑦取材

- ・オンラインボランティア終了後すぐに新聞社から取材されました!!

離島経済新聞・南洋日日新聞からの取材と、琉球新報社さんは生配信を拝見してくださり記事を掲載してくださいました。



琉球新報デジタルURL 2020.09.25付
【<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1197160.html>】

⑧終わりに

- 新型コロナウイルスで対面ができないが、オンラインを使用すればリモートでボランティア活動を行うことができる!!
→ 困っている人たちに自分たちの**体験**や**知識**を伝え教えることでもOK
- オンラインの可能性を探り、皆さんも助け合いながらこの苦しい状況を乗り終えていこう!!
→ zoom、teamsの**web会議システム**や**SNSのライブ機能**などさまざまツールを使用して、互いに交流して**助け合いの和**をつくろう!

